

# 平成 28 年度 学校法人 三幸学園 名古屋スイーツアンドカフェ専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 藤田 高広

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 堀 潔

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、スイーツ・カフェ分野の学校として「食を通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また、「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、スイーツ・カフェ分野として「食を通じて健康と楽しさを提供できる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

## 2. 平成 28 年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

開校初年度となるため、教育理念である「技能と心の調和」に基づき、社会の動向、業界の現状を踏まえ、学校の基盤を作り上げる。そのためにも以下の点を重視し、教育を進めていく。

また、その基盤作りを成し遂げるためにも、教員の共通理解＝「一体化」は必要不可欠となるため、教員間でのタイムリーな情報共有、教務に関わる決定事項の浸透他、意識を高く持ち、より精度が高められるよう取り組んでいく。

- ① 挨拶、返事の徹底（授業外での挨拶も含む）
- ② 清掃の徹底
- ③ 報告、連絡、相談の徹底
- ④ カフェ、製菓の技術力高める
- ⑤ 主体性を持たせる（アクティブラーニング他）
- ⑥ 衛生管理の徹底

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

### (1). 教育理念・目標

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1

#### ① 課題

- ・理念、目標の浸透が学生及び保護者に対して不足していること

② 今後の改善方策

- ・学生には学校生活、授業を通して理念、目標の浸透を図り、保護者には様々な行事へ積極的に参加頂き、その機会を利用し、理念、目標の浸透を構築する

③ 特記事項

- ・教育理念から人材育成をより体系化するべく三幸学園の教職員としてのビジョン、ミッションを設定し、全教職員へ浸透を図っている
- ・業界ニーズをより深く理解し、日々の教育へ活かしていくことを目的に、関連企業、地域団体と産学連携、地域連携し、教育課程の共同編成やシラバスの共同開発を行い、業界の即戦力となれる人材育成を積極的に実践している

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・学生の目の触れる場所に教育理念、目標を必ず掲示する
- ・担任からも学生に教育理念、目標を直接伝達・浸透させる機会を設ける必要がある

(2). 学校運営

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	③	2	1
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	③	2	1
人事、給与に関する制度は整備されているか	④	3	2	1
教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	④	3	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

① 課題

- ・教育活動の情報公開がホームページ、一部媒体のみとなっている為、公開の場を増やしていく
- ・業務の効率化を含め、より一層の情報システム化を進める

② 今後の改善方策

- ・情報共有、公開の場を整備していく
- ・業務フローを見直し、自動化できる業務に関しては情報化し、業務の効率化を図る

③ 特記事項

- ・定期的に教職員に向けての会議を実施し、運営方針等の浸透とともに、情報共有を積極的に行っている

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・必要に応じて業者に委託をすることで業務の効率化が図れるのではないか
- ・業務の効率化のためにも上長から業務の取捨選択をすることも必要ではないか
- ・そもそも働く場所を好きになってもらうことが必要であり、上長や先輩が雰囲気づくりや声掛けをするべき  
実際に一体化を図るための工夫(親睦会等)により、効率化につながる実績を出している企業もある

### (3). 教育活動

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	③	2	1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

#### ① 課題

- ・更なる教育活動(質)の向上
- ・授業評価及び実習評価の精度向上と教育への反映

#### ② 今後の改善方策

- ・教員、教育の質の向上を目的とした研修、講習会の回数増やしていく
- ・収集した情報を多面的に評価し、教育課程の編成に活用していく仕組みを構築する

### ③ 特記事項

- ・平成29年度より「教育課程編成委員会」を年2回実施予定
- ・平成29年度より技術教員の増加に伴い、技術力向上の研修を実施予定

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・授業アンケート以外で生徒のニーズをタイムリーに把握する機会を設け、ニーズに合った授業展開を工夫するべきではないか
- ・授業とはリハーサルではなく本番の場である為、学生にベストの授業を展開できるよう、教員自身も練習や準備を今以上に実施するべき
- ・教員を生徒に見立て「模擬授業」を行い、その後実際の授業を見学し、フィードバックする機会を設けることで教員の質向上を測ることができるのではないか
- ・最新の業界の流行りを教員自ら知る努力をするべき
- ・姉妹校などの授業を見学することで新しい発見や刺激になるのでは

## (4). 学修成果

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	就職率の向上が図られているか	4	③	2
資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	②	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	②	1

### ① 課題

- ・資格試験合格率の更なる向上
- ・就職支援の確立
- ・退学者に対する分析、新たな対応策の検討

### ② 今後の改善方策

- ・資格取得の動機付けを重点的に実施し、上級試験、再受験を含め、チャレンジ意欲も醸成する
- ・授業内の資格取得対策を強化するとともに、課外の受験対策講座も更に充実させる
- ・校友会を中心とした活動を積極的かつ戦略的に支援することで全体的な把握に努める
- ・精皆勤の状況を中心にクラス状況報告を月に一度実施し、退学防止報告書を退学予兆の時点にて作成し、今後の傾向や対策に活用する

### ③ 特記事項

- ・平成28年度は卒業生を輩出していないため、就職率等の実績はなし
- ・SANKOリンク(卒業生ネットワークサイト)は設置済み

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・担任と教科担当の連携を密に取り、それぞれの学生の現状を把握し、退学につながる危険因子を消していく対応が重要だと考える

(5). 学生支援

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	③	2
学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1

① 課題

- ・保護者との主な連携は問題行動のある学生のみと偏りがある
- ・卒業生SNSとして「SANKO リンク」を設置しているが、利用状況が活発ではない為、更なる利用促進が必要
- ・高校、高等専修学校等とのキャリア教育、職業教育などの連携強化が必要

② 今後の改善方策

- ・定期的な保護者への連絡とともに、保護者を様々な形で関わりを持てるシステムを計画中

③ 特記事項

- ・複数名の教員による就職支援システムを構築(ふるさとサポート制度あり)
- ・経済的な支援として、特待生制度、学費応援制度等あり
- ・卒後は独立開業支援制度もあり、卒後教育として「製菓衛生士」のセミナー制度も予定している

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・高等学校、高等専修学校とのキャリア教育窓口は、効率化も含め、専門業者に委託しても良いのでは
- ・卒業生と定期的に連絡を取ることで、卒業後の関係性も良好に続くため、是非、実施して欲しい

## (6). 教育環境

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

### ① 課題

- ・更に質の高い教育を目指し、教育環境、体制を整備する

### ② 今後の改善方策

- ・社会のニーズに対応した職業教育を行うべく、教育ツールを企業と連携し開発、整備する
- ・より安全を追求し、防災整備、防災訓練を進める

### ③ 特記事項

- ・更なる充実を図るため、毎年、産学連携、インターンシップの新規開拓を行っている

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・(株)ビルネット様では消防署と連携し、訓練を実施されている。教員向けのAED講習会も(株)ビルネット様と連携して実施することを検討

## (7). 学生の受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

### ① 課題

- ・定員充足による募集停止時の対応

### ② 今後の改善方策

- ・高等学校への書面告知、ホームページ等による告知等の確立

### ③ 特記事項

- ・学納金は、教育研究費、人件費、施設管理費などを算出基盤としている
- ・学納金の決定に際しては、他校の学費水準も把握して上で決定している
- ・一般社団法人愛知県専修学校・各種学校連合会が定めた内容を遵守している

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(8). 財務

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 課題

【中長期計画】

中長期事業計画は2012年に策定したが、当該計画は前倒しで終了しているため、今年度に更なる中長期計画を策定する必要性がある

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

ホームページ上の公開については抜粋版が公開となっているが、今後は事業報告などの詳細な情報の公開が必要

② 今後の改善方法

【中期計画】

今年度に新中期計画を策定する予定である

【財務情報の公開】

今年度よりホームページ上の法人の事業報告書を公開する予定である。なお、当該報告書には財務情報にかかる詳細データを掲載する事となっている

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

## (9). 法令等の遵守

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	3	②	1
自己評価結果を公開しているか	4	3	②	1

### ① 課題

- ・更なる法令遵守の推進

### ② 今後の改善方策

- ・会議や掲示物等を通じて、全ての教職員に法令遵守に対する啓蒙を継続的に図る

### ③ 特記事項

- ・平成 28 年度自己評価結果より公開を開始

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・特になし

## (10). 社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	3	②	1

### ① 課題

- ・ボランティア活動の案内、奨励、支援の強化
- ・公開講座について、地域や一般の方に向けた講座の検討

### ② 今後の改善方策

- ・学校独自のボランティア活動の計画、様々な団体から頂くボランティア案内を積極的に発信していく
- ・地域貢献に繋がる公開講座、支援を積極的に実施していく

### ③ 特記事項

- ・平成29年度より学内店舗実習を積極的に展開していく(1階店舗実習室にて)
- ・平成29年度より児童養護施設支援、高等学校への技術支援等を強化していく



④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・地元高等学校との文化祭などで連携を実施する
- ・円頓寺商店街での祭事(バリ祭)等、周辺地域との連携も実施予定
- ・高等学校での謝恩会で軽食やスイーツなどのケータリングを検討してみてもどうか
- ・(株)ビルネット様や(株)共立メンテナンス様の女子社員向けに料理教室を開催してみてもどうか

(11). 国際交流

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4	③	2	1
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	④	3	2	1
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	②	1
学内で適切な体制が整備されているか	4	③	2	1

① 課題

- ・留学生に対して、積極的な募集活動を行えていない現状がある

② 今後の改善方策

- ・留学生の増加を想定した体制作り
- ・留学生に対する卒業後の情報収集(母国の業界状況、母国の就職斡旋等)

③ 特記事項

- ・開校初年度より「留学生学費減免入学」制度を導入している

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・(株)ビルネット様、(株)共立メンテナンス様も留学生の採用実績があり、内容によっては就職の斡旋も可能
- ・ビザなどの仕組み他、留学生をサポートする上で必要な情報が不足している傾向にあるため、教員自身の知識向上が必要であると思われる
- ・長期的に考えると、外国語(英語)を話せる教員が必要だと思う

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

総合的に評価すると円滑な1年であったが、開校1年目であった為、まだまだ未知数の部分があると思われる。安定した学校運営を展開するためにも、今ある全ての項目の課題に対して真摯に向き合う必要がある。

次年度、初めて稼働する2年次の学習内容を含め、現カリキュラムに関しては業界が求める人材を基に作成されており、非常に充実している。また、人間教育に関しても、コミュニケーション能力、協調性、主体性等の成長を促す取り組みは多数あり、高いレベルの教育プログラムが揃っていると思われる。その証明として学生募集は順調に推移している。

開校2年目は更に担任力の強化や学校全体として教務力の向上を図ると共に、退学率の低減を確実に進めていく。そのためにも、各教員が責任を持って行動することが求められる。また学校の取り組みや体制を全教職員に理解・浸透させていく機会を増やし、今以上に業界や地域から信頼され、必要性の高い専門学校になるよう、質

の高い「基盤作り」を進めていきたい。